

2014年度第3四半期業績のご報告

日本エマージェンシーアシスタンス株式会社

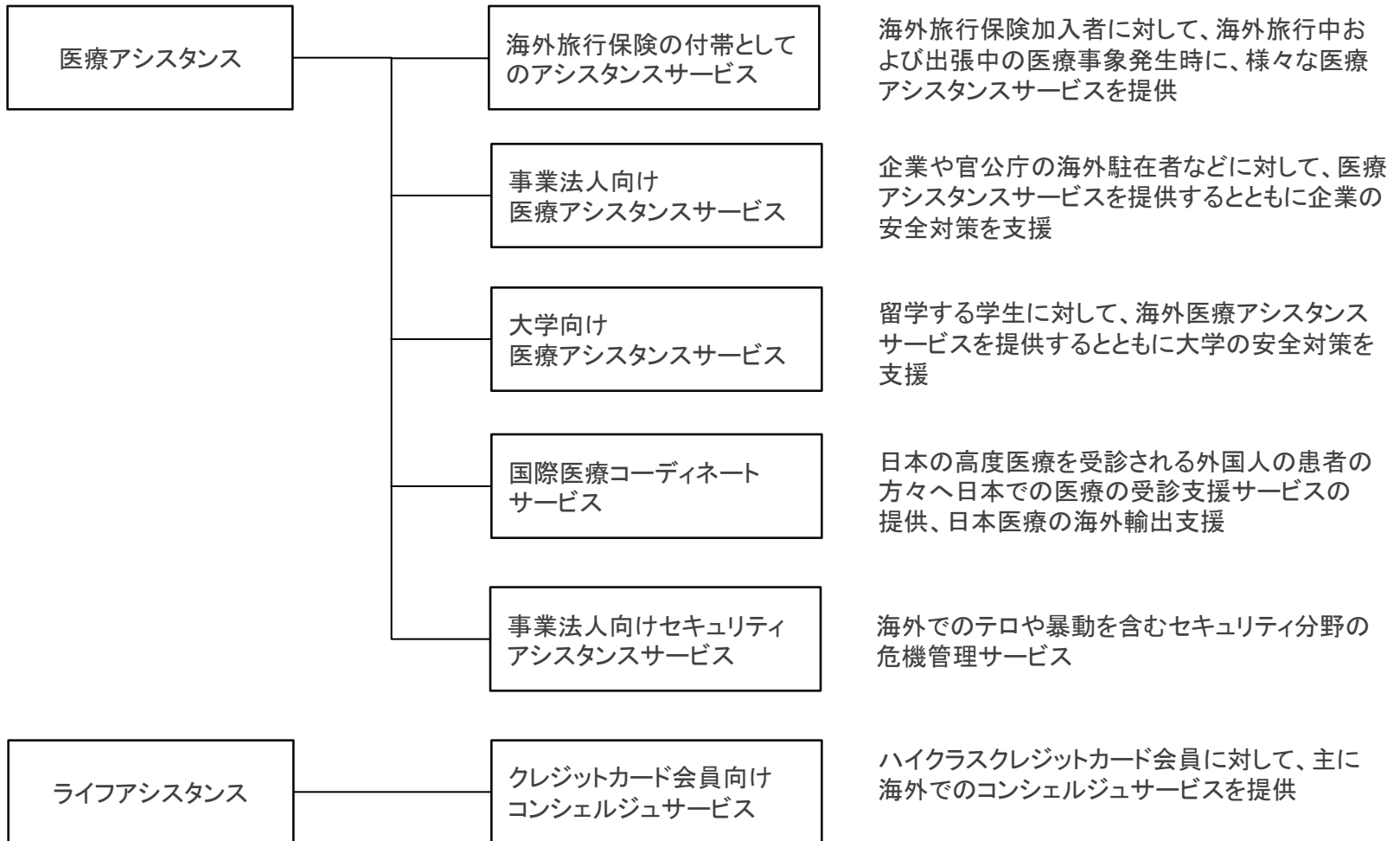
2014年11月14日

I . EAJ事業内容のご説明

当社事業

事業

展開する主なサービス概要



Ⅱ. 2014年度第3四半期連結累計期間の決算報告

第3四半期の業績サマリー

- 売上高 1,644百万円(前年同期:1,468百万円)
営業利益 △21百万円(前年同期: 13百万円)
経常利益 △30百万円(前年同期: 3百万円)
- 海外出国者数については7・8・9月ともに前年同月比を若干下回り、当社のアシスタンスサービス提供数も前年同月比を下回った。一方、請求ベースでの売上は堅調に推移し、他の分野(法人・大学売上、外国人患者受入事業等)においても収入は増加し、売上高は1,664百万円となった(前年同期比で12.0%の増収)。
- 9月からの損害保険ジャパン日本興亜(株)からの受注増加に対応するための投資費用が増加し、また急激な円安による海外センターコストの増加により、営業利益は△21百万円となった。
- 海外子会社への外注費支払に対する為替差損等の発生により経常利益は△30百万円となった。

第3四半期及び今後のトピック

第3四半期の状況

- 海外出国者数が前年同月比で減少し、当社のアシスタンスサービス提供数もそれに伴い減少した。
- 訪日外客数は7～9月にかけて過去最高であり、当社のインバウンドビジネスの外国人患者受入数も過去最高であった。
- 9月1日に誕生した損害保険ジャパン日本興亜(株)から当社は医療アシスタンス業務を受注した。現在のところ、本格的な業務量増加に至ってはいないが、今後発生する業務量の増加に対応するため万全の業務受注体制整備を進めている。

今後の動向

- 西アフリカにおけるエボラ出血熱の拡大、日本国内での「デング熱」感染の確認、イスラム国の活動の活発化などから、危機管理に関する関心が個人、企業、大学において高まっている。**(当スライド18P以降をご参照ください。)**
- 上記の外部環境は短期的には出国者数の減少につながり当社利益にマイナスの影響を与えるが、長期的には社会的な危機管理に対するニーズが高まり当社利益にプラスの影響を与える。
- 日本政府は2020年東京オリンピック開催まで在日外客数を年間2,000万人にすることを目標にしており、またしばらくは円安トレンドが続くことが予想されるため、当社の外国人患者受入数は増加していくと考えられる。

第3四半期連結累計業績

(単位:百万円)

	前年同期 (売上高利益率)	第3Q (売上高利益率)
売上高	1,468	1,644
営業利益	13 (0.9%)	△21 (△1.3%)
経常利益	3 (0.3%)	△30 (△1.9%)
四半期純利益	3 (0.2%)	△20 (△1.2%)

売上高

-前年に比べ海外出国者数が減少傾向にあり、アシスタンスサービス提供数も減少したものの、請求ベースでの売上は順調に推移し、その他の売上(法人・大学、インバウンド事業、ライフアシスタンス売上)も好調であり、前年同期比で増収となった。

費用

-サービス体制強化のための費用が増加
 ・グローバル人材の採用と教育
 ・医療機関ネットワークの拡充
 ・高機能通信機器への設備投資
 ・基幹業務システムの改修へ投資
 -急激な円安による海外センターのコストが増加

セグメント別業績ハイライト

- 医療アシスタンス事業は、海外出国者数が減少し、アシスタンスサービス提供数も減少。一方、請求ベースのケース売上は増加。
- ライフアシスタンス事業は、サービスの拡充および新規サービス提供開始により前年同期比で売上・利益が増加。

(単位:百万円)

	前年同期		第3Q	
	売上高	利益	売上高	利益
医療アシスタンス事業	1,203	180	1,335	140
ライフアシスタンス事業	264	67	308	84
調整額※	-	△234	-	△246
セグメント合計	1,468	13	1,644	△21

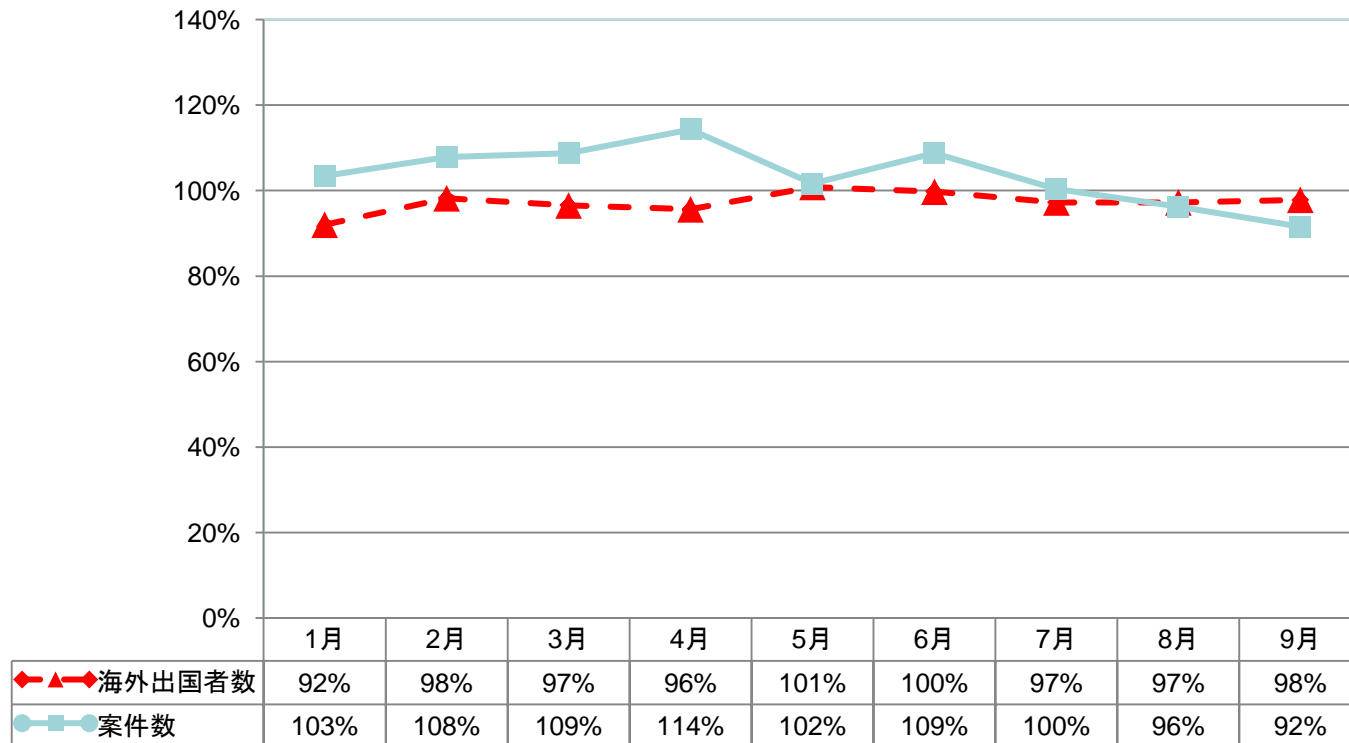
※ 調整額とは、各報告セグメントに配分していない全社費用のこと。

※ セグメント利益の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益と一致している。

医療アシスタンス事業の概要

海外出国者数は7～9月にかけて前年比で減少した。そのため、当社アシスタンスサービス提供数(以下「案件数」)も前年同期比で減少した。

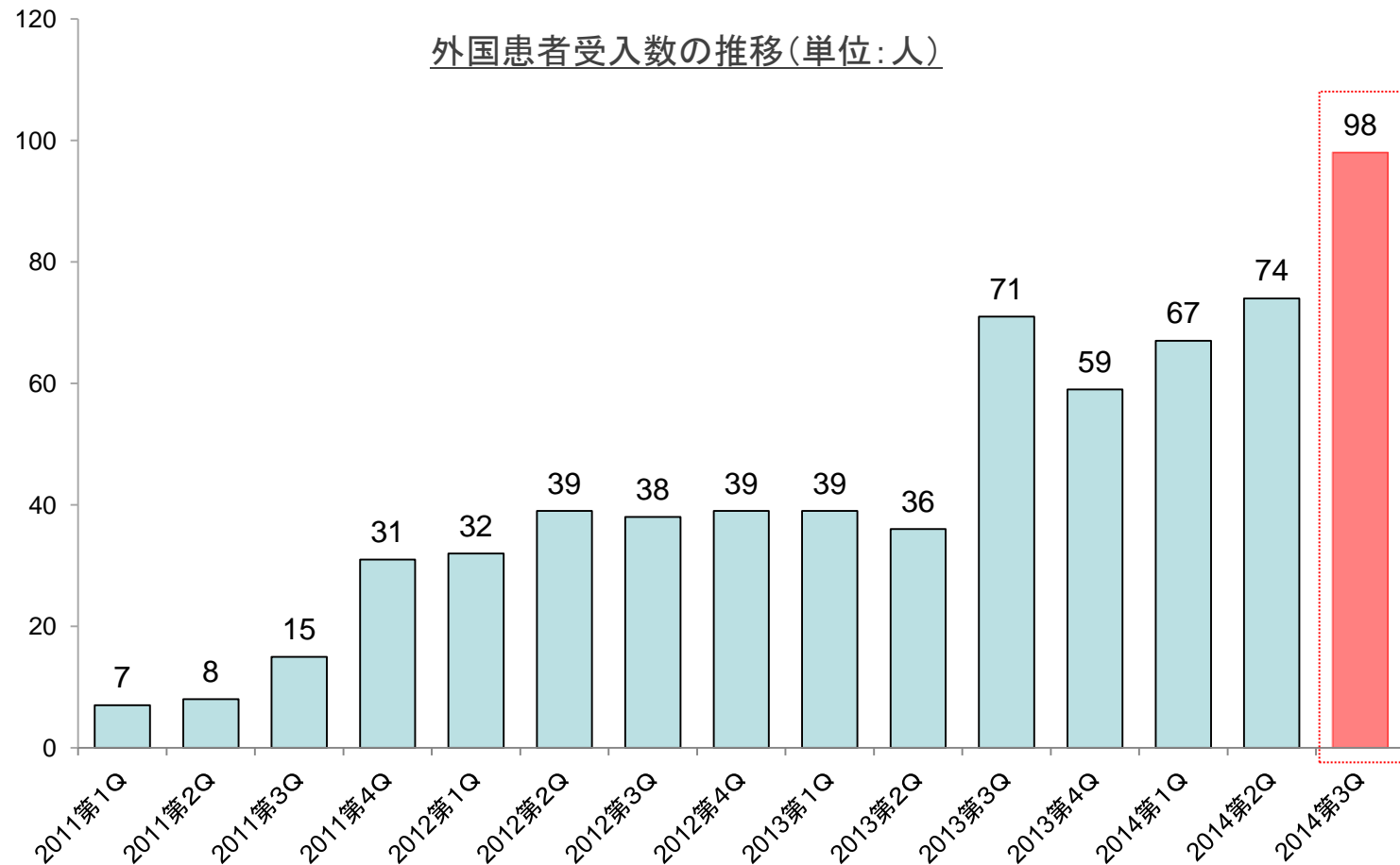
海外出国者数と案件数の推移(前年同期比)



資料:海外出国者数は『平成26年 出国日本人数推計値』JNTOを参考とした。8月・9月についてはJNTO推計値。
また、案件数は、今年度新たに契約したビジネスを除いた、既存ビジネスの対比。

医療アシスタンス事業の概要

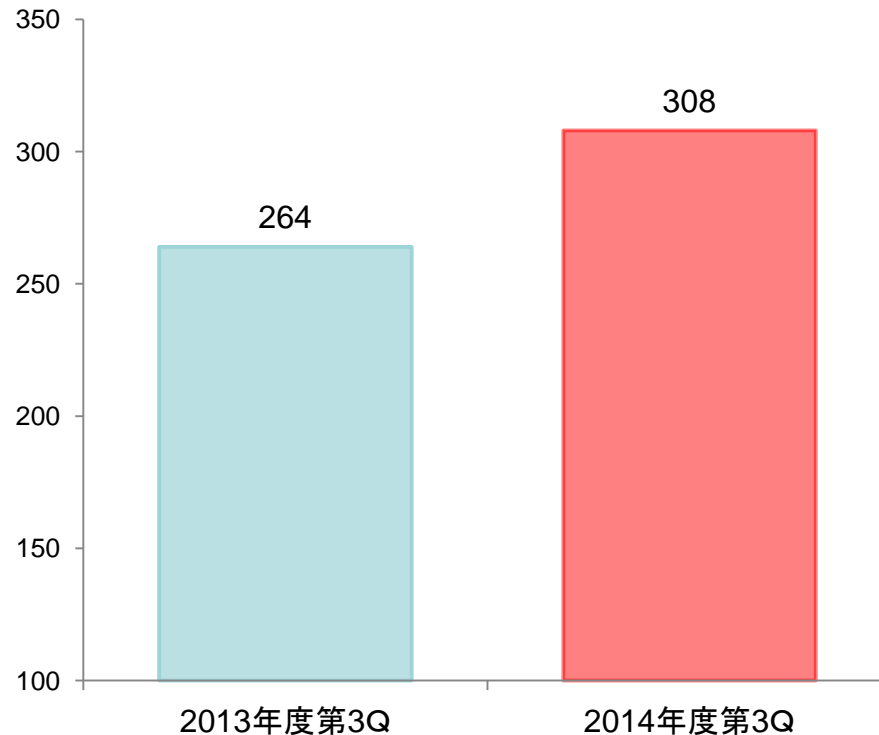
国際医療事業分野の外国人患者受入数は訪日外客数の増加を受けて前年より増加傾向にある。第3Qの外国人患者受入数は、受入を始めてから過去最高の人数であった。



ライフアシスタンス事業の概要

第3Q終了時点で、ライフアシスタンス事業の売上高は前年同期比で44百万円増加。

売上高の比較(単位:百万円)



既存サービスの拡大及び第1Qからの新規サービスが順調に軌道に載り、前年同期比で売上が大幅に増加。

(株)一休から海外チェックインコンシェルジュサービスを獲得。顧客満足を最大にするサービスを提供する。

第3四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2013末 (構成比)	第3Q末 (構成比)
総資産	1,594 (100%)	1,865 (100%)
流動資産	1,457 (91%)	1,573 (84%)
固定資産	136 (8%)	292 (15%)
流動負債	919 (57%)	1,070 (57%)
固定負債	64 (4%)	205 (11%)
参考:借入金残高	581 (36%)	668 (35%)
純資産合計	610 (38%)	589 (31%)

流動・固定資産

- 銀行からの借入により現金及び預金が増加
- システム投資により固定資産が増加

負債

- システム投資に関する未払金が増加
- 投資資金確保のため金融機関からの借入金が増加

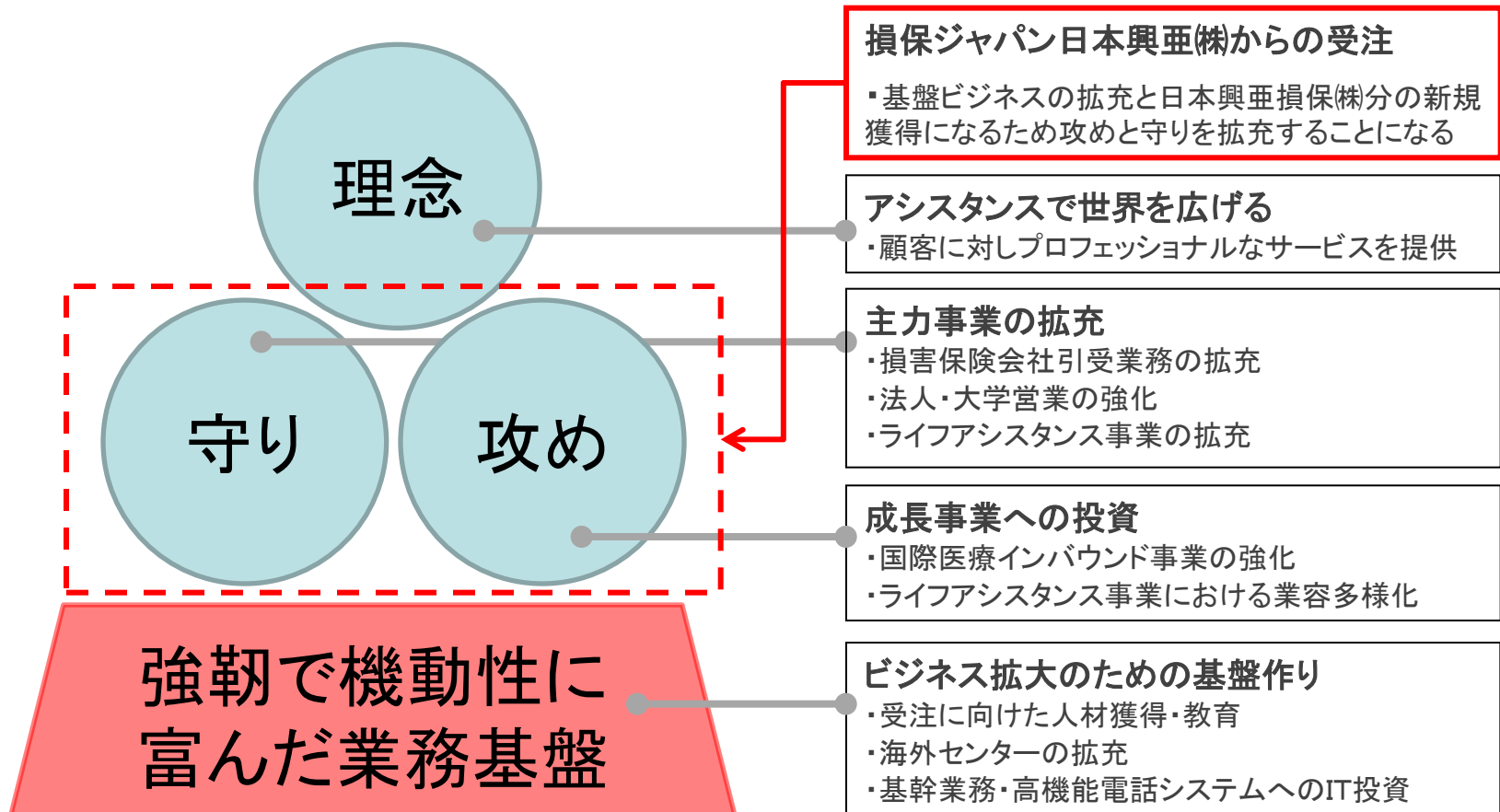
純資産

- 当期純損失が発生
- 配当金支払のため資本剰余金が減少

Ⅲ. 各種施策の取組み状況のご説明

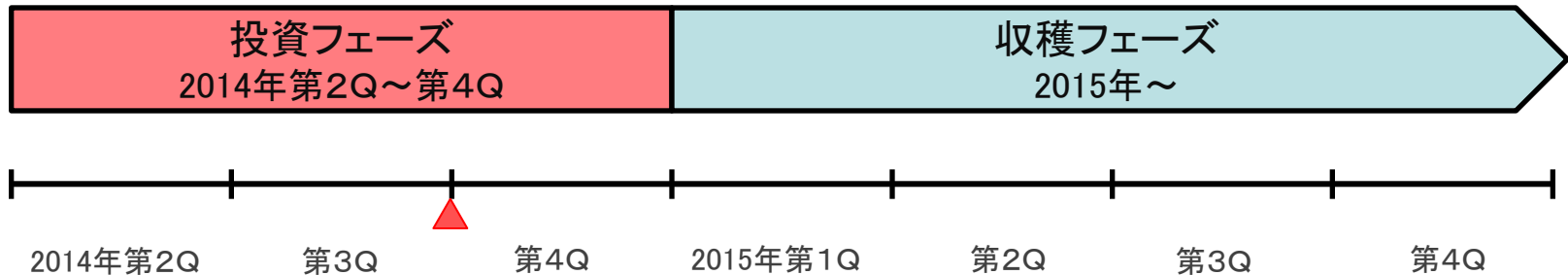
2014年の重点目標・新規受注の位置付け

EAJは「攻め」と「守り」のバランスの取れた経営を目指す。2014年に関しては「ビジネス拡大のための基盤作り」に重点を置く。



新会社からの受注効果は第4四半期から発生

- 損害保険ジャパン日本興亜(株)からの受注による売上拡大効果は第4四半期から発生するが2014年は人材・IT等の先行投資を加速度的に実施するため赤字基調と予測。
- 2015年度は新会社からの売上が通期で入るため、黒字基調(収穫フェーズ)になると予測。



	投資フェーズ	収穫フェーズ
売上	新会社からの受注による業務規模拡大分が第4Qから計上される	新会社からの受注による業務規模拡大分が第1Qから計上される
人件費	事前の人材採用のため、売上増加前に人件費が増加	人件費の増加は売上増加に比例
IT投資	高機能電話システム整備 基幹業務システムの改修	通常のシステム関連オペレーティングコスト
利益	投資が先行するため低調	売上増加につれて利益率は改善

2014年全社重点事業目標の進捗状況

全社重点事業目標

第3Qの進捗状況

受注獲得とそのための受入態勢の確立

9月設立の損害保険ジャパン日本興亜(株)からの業務受注により業務規模が拡大する。人材・システム投資を加速して受入体制を整備する。

システム投資によるグローバル体制の確立とサービス品質世界一への取組み

新電話システムの全センター導入、基幹業務システムの更新はほぼ完了。グローバルな医療アシスタンス体制を強化し、サービス品質世界一を目指す。

法人・大学向け医療アシスタンスサービス提供数の拡大

危機管理意識が高まる中、法人・大学に積極的な営業活動を行い、医療・セキュリティアシスタンスサービスを提供する法人・大学数を増やしている。

国際医療インバウンド患者数の拡大及び国際医療コンサルティングのビジネスモデル確立

インバウンドサービス提供数は順調に推移し、受入患者数は大幅に増加している。官公庁からのプロジェクトは着実に業務を遂行している。


ライフアシスタンス事業の新規契約獲得

(株)一休から海外チェックインアシスタンスサービス事業を獲得。今後も人材確保に注力し、さらなる高いサービス提供を実現する。

各種施策に関する主要NEWS RELEASE

東京藝術大学と大学等学校法人向け危機管理サービスに関する契約を締結

NEWS RELEASE



2014年9月22日

各位


<p>会社名 日本エマーゼンシーアシスタンス株式会社 代表者名 代表取締役社長 吉田 一正 (コード番号: 6063 東京証券取引所JASDAQ)</p>	<p style="text-align: center;">東京藝術大学と大学等学校法人向け 危機管理サービスに関する契約を締結</p> <p>日本エマーゼンシーアシスタンス株式会社(略称: EAJ、本社: 東京都文京区、代表取締役社長: 吉田一正、URL: http://emergency.co.jp/)は、国立大学法人東京藝術大学(所在地: 東京都台東区)と大学等学校法人向け危機管理サービスに関する契約を締結し、2014年9月からその提供を開始いたしました。</p> <p>東京藝術大学は、創立以来120余年間、日本の芸術教育研究の中枢として、幾多の優れた芸術家、芸術分野の教育者・研究者を輩出してこられました。</p> <p>「自由と創造の精神を尊重し、芸術文化の発展に指導的役割を果たす」ことを理念とする同大学は芸術の力で日本文化に貢献し、かつ人類社会の発展に寄与することをその信条としており、そのために国際関係を重視し、海外との様々なレベルでの交流を高め、国際的人材の育成に努めてこられました。</p> <p>また、同大学は、教育の国際競争力強化を目的とし、国際化と学内改革を積極的に行う大学を重点的に支援する文部省のスーパーグローバル大学創成支援事業に現在申請中であり、国際化・グローバル化にこれまで以上に力を入れておられます。</p> <p>そのため今後も同大学の学生の海外留学活動が拡大する予定ですが、一方で邦人が海外でトラブルに遭うケースが増加しており、同大学では学生の海外危機管理体制整備を進めてきました。</p> <p>当社は、大学等学校法人向け危機管理サービス「OSSMA(※)」を通し、大学向けの危機管理および派遣学生向けの危機管理の両サービスを提供し、同大学の海外での危機管理および重大事故発生時の対応および派遣留学生の海外での危機管理を支援いたします。</p> <p>政府は大学の国際的な地位向上を通じて、産業競争力の強化を図るねらいから、10年間で世界大学ランキングの上位100校以内に10校以上入ることを目標にスーパーグローバル大学制度を創設し、大学教育のグローバル展開力を強化する方針であります。</p> <p>このように、グローバル人材育成事業は、我が国の重要政策の一つです。そのため、各大学の海外交流活動は、今後、活発化することが予測されます。当社は、大学および派遣留学生の海外での安全・安心のための様々なサービスを提供し、将来を担う学生のグローバル人材化に貢献してまいります。</p>
---	---

※OSSMAとは、Overseas Students Safety Management Assistance の略

■本件に関するお問合せ先
管理部 IR室
電話: 03-3811-8121

株式会社一休の海外ホテル予約に関する海外チェックインアシスタンスサービス業務を受注

NEWS RELEASE



2014年10月6日

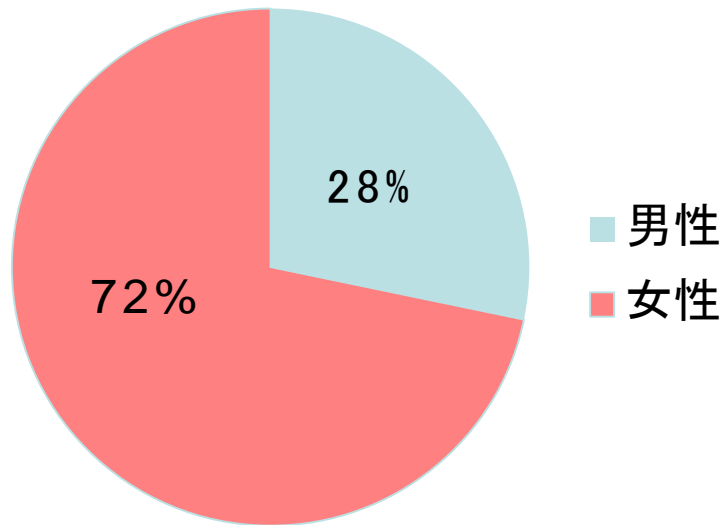
各位

<p>会社名 日本エマーゼンシーアシスタンス株式会社 代表者名 代表取締役社長 吉田 一正 (コード番号: 6063 東京証券取引所JASDAQ)</p>	<p style="text-align: center;">株式会社一休の海外ホテル予約に関する 海外チェックインアシスタンスサービス業務を受注</p> <p>日本エマーゼンシーアシスタンス株式会社(略称: EAJ、本社: 東京都文京区、代表取締役社長: 吉田一正、URL: http://emergency.co.jp/)は、株式会社一休(東京都港区、代表取締役社長: 森 正文)より海外のホテル予約に関する「海外チェックインアシスタンス」サービス業務を受注し、2014年10月からその提供を開始いたしました。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>株式会社一休は、「ここに贅沢させよう」をモットーに、高級ホテルやレストランのインターネット予約サイトを展開しておられます。主力の「一休.com」は高級ホテル、旅館に特化した宿泊予約サイトであり、ホテルニューオータニ、ホテルオークラ、帝国ホテルなどの国内一流ホテルやパーク ハイアット 東京、フォーシーズンズホテルといった外資系一流ホテル等を主なクライアントとし、厳選した宿のみを掲載することで、一休ブランドを確立し、ユーザーから「安心して使えるサイト」として認知されておられます。</p> <p>また、同社は宿泊予約だけでなく、宿泊施設・レストランで使えるギフトチケットも販売し、様々な形で「充実した余暇」を提供し、クライアントに豊かな生活を提供しておられます。</p> <p>このようなコンセプトの下、同社は海外ホテル予約サイト「一休.com 海外」を開設し、世界各地の高級ホテルの宿泊予約を日本語でできるサービスの提供を開始されます。</p> <p>当社は、今般、同社の予約サイトで海外ホテルを予約した顧客に対して「海外チェックインアシスタンス」サービスを提供する会社として指名され、10月からサービスを提供いたします。</p> <p>「海外チェックインアシスタンス」サービスとは、チェックイン時のトラブル対応(ホテルの予約状況・サービス内容の確認、代替業の提供等)や顧客が病気・怪我等を発症した際の医療機関情報の提供等を行います。</p> <p>当社は海外で医療機関を紹介する医療アシスタンスサービスを提供するとともに、コンシェルジュサービスを中心とするライフアシスタンスサービスを提供するアシスタンス会社として、今後も海外に展開される企業に対して医療アシスタンス及びライフアシスタンス両面でサービスを提供し、お客様の海外での活動を強力にサポートして参ります。</p> <p>■本件に関するお問合せ先 管理部 IR室 電話: 03-3811-8121</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
---	--

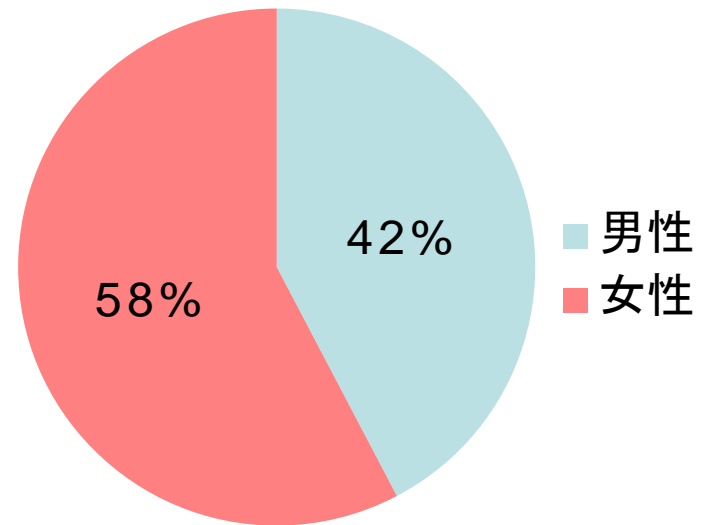
EAJでは女性が多く活躍しています

EAJでは女性が積極的に活躍しています。グループ全体の女性比率は72%、そのうち役職者の女性比率は58%になります。

当社は内閣府男女共同参画局「女性の活躍『見える化』サイト」に情報を開示します(現在申請中)。



グループ全体の男女比



マネージャー以上の役職者の男女比



内閣府のサイト「女性の活躍『見える化』サイト」に当社の役員・管理職への女性の登用、仕事と生活の両立推進等に関する情報を公表します。

IV. 企業・大学の海外危機管理について

海外では思わぬ病気にかかることがあります

- ・例えば、今年日本でも発生したデング熱。発生地域は熱帯・亜熱帯地域です。
- ・EAJは当社と契約している企業・大学にはデング熱に関する定期的な情報配信、セミナー講師派遣等により事前に情報提供をしています。
- ・EAJは契約先の企業・大学の社員・留学生様が海外でデング熱に感染した場合に適切な医療機関を紹介します。

●デング熱の発生地域

南アジア(インド、ミャンマー、フィリピン、タイ、マレーシア、インドネシア等)
カリブ海諸国、中米と南米の熱帯地域
西アフリカの一部。

●発生時期

デング熱は蚊が媒介する感染症であり蚊がふえる雨季に流行します。

●特徴

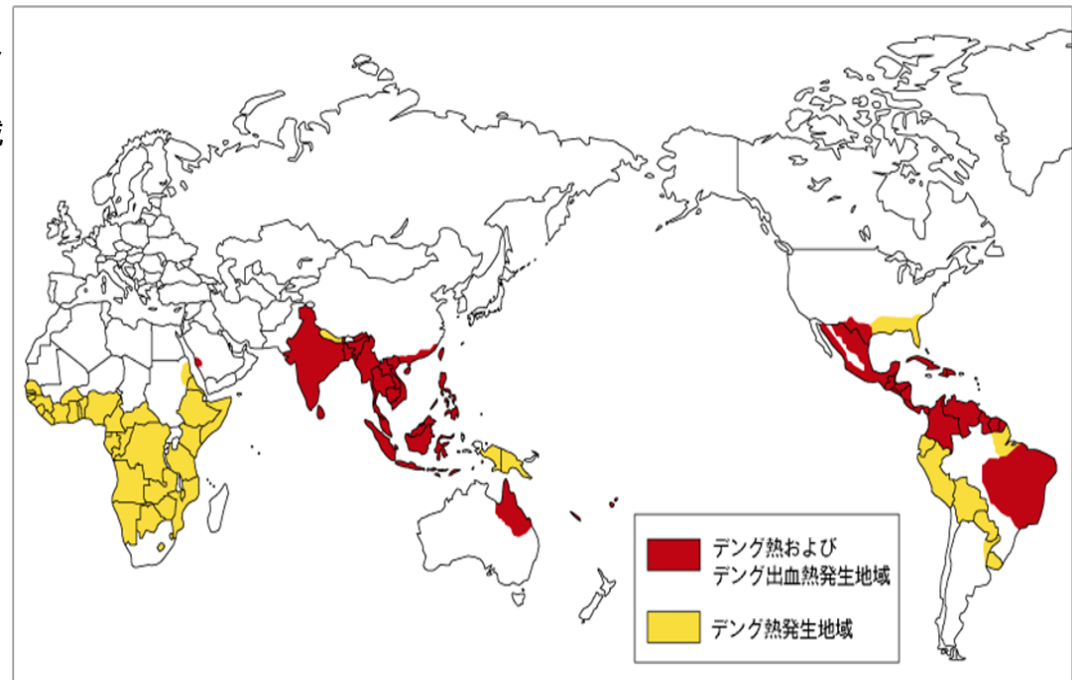
デング熱は一度に多数の感染者が発生し、一回の流行で住民の50～90%が感染することもあります。

●症状

39～40℃の発熱、頭痛、目の痛み、食欲不振、悪心、嘔吐、腰痛、関節痛

●日本人の感染者

感染者の渡航先は東南アジアを中心としたアジア諸国がほとんどです。



西アフリカではエボラ出血熱が流行

- ・EAJは当社と契約している企業・大学にはエボラ出血熱に関する定期的な情報配信、セミナー講師派遣等により事前に情報提供をしています。
- ・EAJは契約先の企業・大学の社員・留学生様が海外でエボラ出血熱の感染の疑いがある場合には適切な医療機関を紹介します。(受入先医療機関の事情、現地保健当局の判断により紹介が困難な場合もあります。)

●エボラ出血熱の症状

エボラウイルスによる急性熱性疾患。

突然の高熱、脱力感、筋肉痛、喉の痛み、頭痛が出た後、嘔吐、下痢、発疹、肝機能腎機能の異常が生じ、歯肉や鼻、消化器など粘膜から出血し、吐血、下血することもある。発症者の約50%が死亡している。

●発生地域

ギニア、シエラレオネ、リベリア等。

●潜伏期間

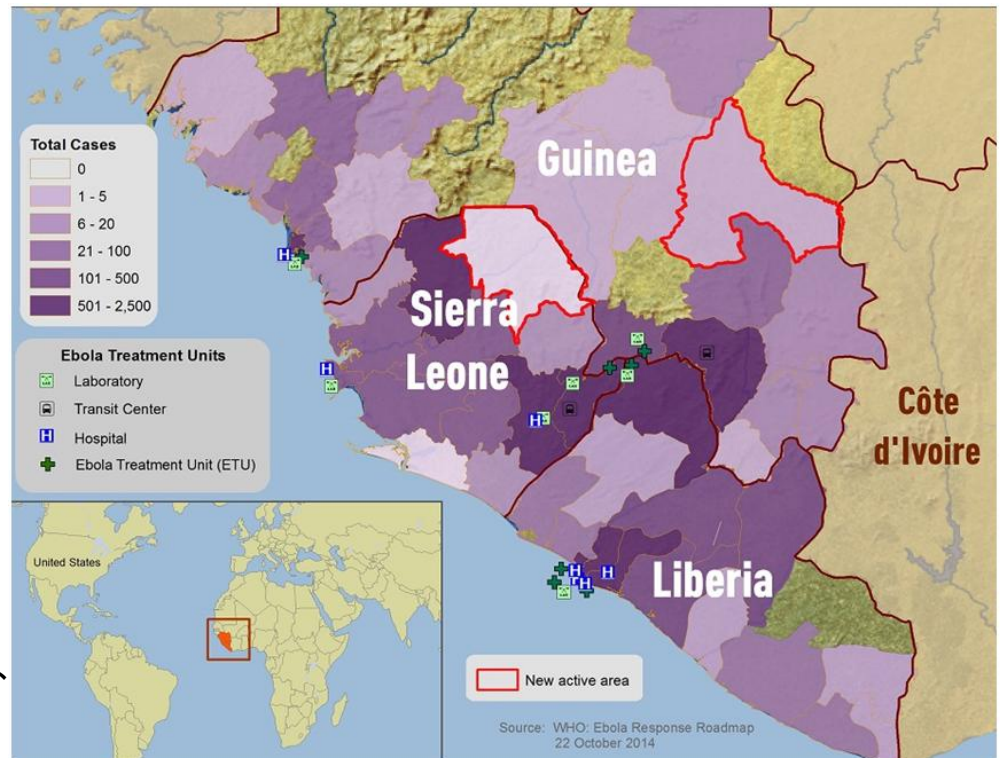
2～21日

●感染経路

エボラウイルスに感染した人または動物の血液や体液に接触した場合のみ感染の恐れがあり、空気感染はない

●治療・予防

感染した人の血液や体液に触れないこと。現時点で予防・治療薬はなく、解熱鎮痛薬、下痢止め薬など対処療法が中心



企業及び大学の海外におけるリスク管理の必要性

企業や大学には安全配慮義務があり、海外で危機管理体制の整備が必要である。

- ①海外拠点安全対策・仕事環境の整備
- ②社員・留学生のリスクの払拭(現地医療・生活事情調査、危機管理マニュアルの整備)
- ③緊急時の医療・セキュリティ体制の整備

海外では医療に関する危機管理体制の整備が必要である。

- ①病気・怪我は海外でも一定の確率で発生する
日本語の通じる医療機関、信頼できる医療機関に関する情報が必要
- ②気候の違い、時差、食習慣の違い
海外出張や赴任のストレス、移動による自然・衛生・社会環境、文化の違いにより体調不良に陥るケースは多い。
- ③日本ではない感染症・風土病
インフルエンザ、デング熱、マラリア、エボラ出血熱、黄熱、寄生虫、狂犬病、肝炎等が発生
→急病やケガの発生に備え、医療アシスタンスサービスを活用することが有効である。

海外ではセキュリティに関する危機管理体制の整備が必要である。

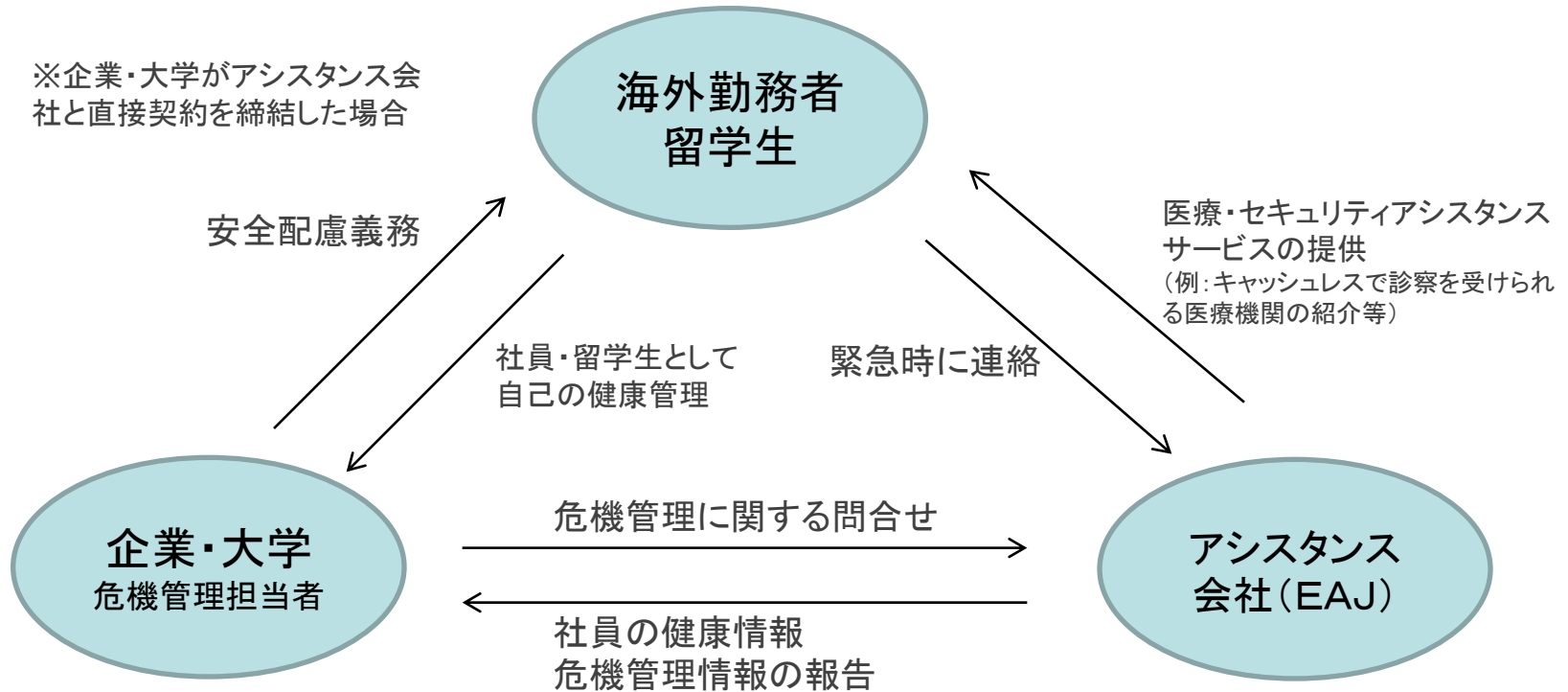
- (※以下最近のセキュリティリスク発生事例)
- 2011年2月 エジプト危機、10月 タイ 洪水
 - 2012年9月 中国 反日デモ
 - 2013年1月 アルジェリアテロ、11月 フィリピン台風、11月～タイ反政府デモ
 - 2014年6月 イスラム国問題発生
- 緊急時に備え、セキュリティアシスタンスサービスを活用することが有効である。



アシスタンス会社の必要性

アシスタンス会社を利用することのメリット

- 企業及び大学は海外勤務者及び留学生に対して安全配慮義務を負うが、アシスタンス会社から医療やセキュリティに関する専門的なサービスを受けることでリスクヘッジ、コスト節減が可能となる。
- アシスタンス会社は海外勤務者や留学生にアシスタンスサービスを提供し、企業及び大学の危機管理担当者に情報を提供することでクライアントにご安心を提供する。



当社が法人・大学向けに提供するサービス

海外24時間医療アシスタンスサービス

- ◆ 海外における現地病院の紹介・予約
- ◆ 電話による医療通訳サービス
- ◆ 入院費・治療費の支払保証・支払代行
- ◆ 治療状況のモニタリング・セカンドオピニオンの提供
- ◆ 通訳の派遣
- ◆ OSSMA LOCATORによる学生情報の管理・安否確認(※大学と契約した場合)



搬送ケースの場合(医療アシスタンスの特殊ケース)

- ◆ 近隣医療先進国への患者搬送の手配
- ◆ 帰国搬送の手配(日本への移送)
- ◆ 日本人医師・看護師のエスコート
- ◆ ご遺体本国送還・帰国時の受け入れ病院(国内)の手配



海外医療コンサルティングサービス

- ◆ 事業進出拠点の保健衛生状況調査
- ◆ 信頼できる医療機関調査
- ◆ 万が一の場合の緊急対応計画とその必要経費などの事前調査

セキュリティサービス

- ◆ 24時間365日アクセスできるセキュリティ・ホット・ライン
- ◆ アジア地域セキュリティ注意喚起及び警告
- ◆ セキュリティ・プロフェッショナルによる電話アドバイス
- ◆ 現地セキュリティ・プロフェッショナルの動員によるアシスタンス・サービス(有料)



法人・大学契約 当社提供サービス例

● 各国医療事情、医療機関情報

ニカラグアの衛生・医療事情一般

ニカラグアは、中米地域のほぼ中央に位置し国土はほぼ北緯11度から15度の位置にあり、亜熱帯地域に属します。

首都のマナグア地域の年平均気温は27度前後、毎年5月から11月までの雨季と残りの時期の乾季に分かれています。

湿度は雨季・乾季での差はそれほどなく、マナグア地域で年平均75%です。

こうした気候から熱帯病といわれる病気が多く、全域で呼吸器・消化器感染症やデング熱、マラリアに注意が必要です。

人口約580万人、平均寿命男性71歳、女性77歳(2009年)です。

国民の5~6割は統計的に貧困層に属し、経済格差に根ざした医療・保健体制の不備はこの国の大きな問題となっています。

また、当国では自動車の普及とともに交通事故件数も増加しています。道路が狭く十分な路側帯が設けられていないことや運転者の教育が行き届いていないこと、一般交通車両の安全装備の不備など、交通安全のための環境がまだまだ整っていません。

● LOCATOR(※) 提供情報

The screenshot shows the LOCATOR system interface. On the left, there is a user profile for 'さん' with details like '所在地', '現地時間', '最終ログイン', and '前回の応答'. Below this is a calendar for November 2014. On the right, there is a 'お知らせ' (Notice) section with a red banner from OSSMA. The notice title is 'OSSMA注意喚起情報 2014年10月24日' and it contains text about an alert for ISIL-related activities in Syria and Iraq, and a report of an incident in Canada involving ISIS supporters.

● 緊急医療対応計画のシュミレーション

緊急移送プラン 2

【定期便で搬送不能 / グアムで治療できない場合】

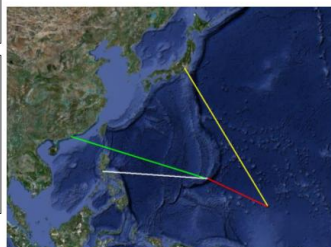
【飛行時間と費用】 二名の医療者費用込み

グアムから手配の場合：
 Pohnpei ⇒ Tokyo / 6.0H / 70,000 - 78,000 USD
 Pohnpei ⇒ (Guam) ⇒ Manila / 6.5H / 64,000 - 71,000 USD
 Pohnpei ⇒ (Guam) ⇒ HK / 7.5H / 80,000 - 87,000 USD

香港から手配の場合：
 Pohnpei ⇒ (Guam) ⇒ Tokyo / 7.0H / 93,000 - 98,000 USD
 その他ルート確認中

チャーターフライトはグアム又は香港のチャーターフライト会社に依頼し最も早く手配できる機材を調達。

ボンベイ ⇒ 東京：約3,700Km (黄色)
 ボンベイ ⇒ グアム：約1,640Km (赤色)
 グアム ⇒ 香港：約3,380Km (緑色)
 グアム ⇒ マニラ：約2,560Km (白色)



【受入先病院候補】

日本：患者家族と相談し希望病院と交渉

マニラ：Makati Medical Centre 所在地：
 地：2 Amorsolo cor. Dela Rosa St., Makati City, Metro Manila
 連絡先 +63-2-888-8999

香港：Hong Kong Adventist Hospital (香港港安医院) 所在地：
 40 Stubbs Road, Hong Kong 香港司徒拔道40号
 連絡先 +852-2574-6211

● セキュリティ関連情報等

■【エボラ出血熱感染 今週の動き】

□ 米国 西アフリカ渡航者の受入を5空港に限定
 米国の国土安全保障省は10月21日、エボラ出血熱の感染が拡大する西アフリカ3国の渡航者の受入先空港を10月22日から主要5空港に限定すると発表した。主要5空港はニューヨークのケネディ空港、首都ワシントン、ニューアーク、アトランタ、シカゴ

□ 米国 西アフリカからの入国者全員調査
 米国の疾病予防コントロールセンター(CDC)は10月22日、エボラ出血熱の感染が拡大する西アフリカ3国からの入国者全員に対して3週間に亘り健康状態の追跡調査を実施すると発表した。実施は10月27日から

□ 米国 ニューヨークで医師がエボラ出血熱に陽性反応
 米国のニューヨーク市で10月23日、西アフリカのギニアから帰国した男性医師がエボラ出血熱で陽性反応を示したことが明らかとなった。医師は国境なき医師団の一員として、ギニアで患者の治療を行い、10月17日に帰国した。10月21日に体調の不調を訴え、10月23日に39.4°Cの発熱があり、市内のベルビュー病院に隔離され治療を受けている。

※契約企業・大学のご要望に応じたフォーマットで当社のデータベース、現地情報を確認の上報告します。

※ 大学(OSSMA)と契約した場合、LOCATORシステムにより学生情報の管理・安否確認を実施します。

EAJは顧客の皆様にご安心を提供する
ジャパNSTANDARDのアシスタンス会社です。

本説明資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらの不確実性には、業界ならびに市場の状況、金利、為替変動、国内外の事業に影響を与える政府の法規制といった国内及び国際的な経済状況などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

また、当資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定はご自身の判断において行われるようお願いいたします。

Copyright ©Emergency Assistance Japan Co., Ltd. All Rights Reserved.

日本エマージェンシーアシスタンス株式会社